



七十人

ゲリー・B・サビン長老

だれも仲間はずれに されませんでした

「あなたがたは皆、心をひとつにし、同情し合い……なさい。」(1ペテロ3:8)

息子のジャスティンは、難病をかかえながら大きくなりました。体がとても弱くなったこともあります。がんばっても、みんなのようにできないこともありました。息子は、人とはちがうということをもっと知っていました。

ある日、ジャスティンと友達らはゲームをするために集まりました。うででボールを打って、それを飛ばすゲームです。遊びに来た一人の女の子は、うでを折っていました。

「そうだな、みんなで遊んでいる間、あの子には見てもらおう」と言うのは簡単でした。

でも、そう言う代わりにジャスティンはこう言ったのです。



「いいアイデアがあるよ。みんな片手だけ使えることにしようよ。」みんなは片手だけを使ってゲームをしました。ギブスをしていた女の子も一緒に。だれも仲間はずれにされませんでした。

ジャスティンはわたしのヒーローです。ジャスティンはいつもみんなを見て、あの人はどう思うだろう?と考えていました。ジャスティンは人生の大半を病気の体ですごしましたが、幸せでした。なぜなら、人々を助け、イエス・キリストにしたがったからです。

だれにでも問題はありますが、喜ぶべきこともたくさんあります。自分にできることをしましょう。神を信頼してください。最大の喜びは、自分のことばかり考えるのではなく、ほかの人に心を向けることからたられます。●

